

持続可能なアジアをリードする 若手研究者フォローアッププログラム1・2・3

Following up program for young researchers leading the sustainable Asia
Exchanging national experiences and best practices to tackle environmental changes

Daisaku GOTO, Ph.D
IDEC, Hiroshima University

後藤大策

広島大学大学院国際協力研究科

広島大学大学院国際協力研究科(IDEC) における国際協力学 3 分野

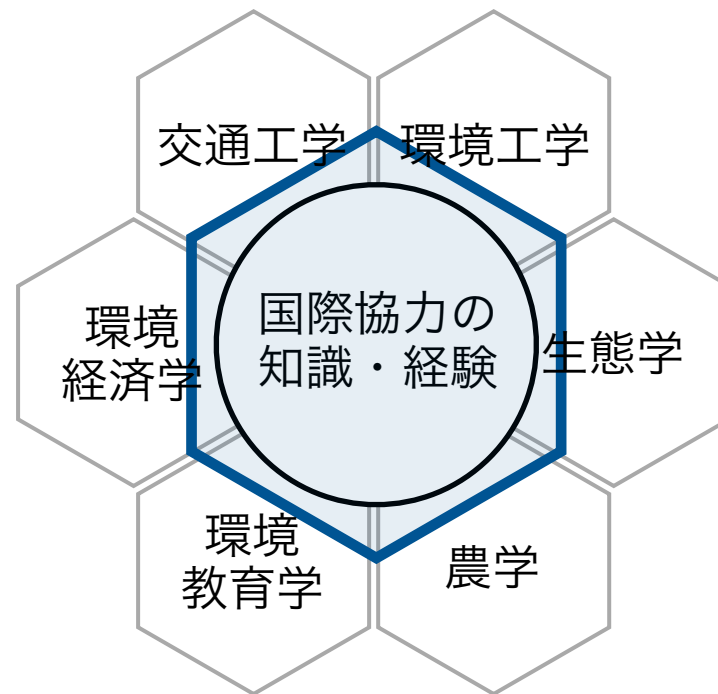


- 📍留学生と日本人学生が共に学ぶ国境を越えた大学院教育
- 📍文理融合・学際的アプローチによる実践的研究
- 📍問題解決志向の高度人材育成

国際環境協力学： 若手研究者交流事業の学術領域

📍国際環境課題の解決に資する学際的学術分野

既存の学問領域における環境研究の蓄積＋実践的な国際協力の知識・経験



📍複眼的視野で国や地域が直面する環境課題を見出し、
その戦略的解決策を設計する環境人材育成

📍多様な社会的ニーズに対応した日本の環境技術の発展・普及と
環境課題解決のための新たな知の体系の創造

国際環境協力学から見たASEANと日本の課題

ASEANの現状と課題

- 📍 発展段階に伴う環境問題だけではなく、それに対応するアプローチも多様化している。
- 📍 環境問題の進行は各国で異なるものの、類似傾向が見られ、各国が独自に取り組んできた対策には共通点がある。

➡ 多様化する**雁行型環境問題を解決**するための**経験共有と研究・技術開発ニーズの把握**が必要

日本の現状と課題

- 📍 途上国の環境人材育成を行い、多くの研究者を輩出してきたが、帰国後の研究活動をフォローアップする体制は十分ではない。
- 📍 国際環境協力における日本の戦略性・機動性・リーダーシップは不十分である。

➡ 日本主導による、育成した人材の**フォローアップと人材ネットワーク体制を構築**し、活動-研究間のフィードバック強化が必要

IDECにおける

若手研究者交流事業の目的と期待される成果

目的

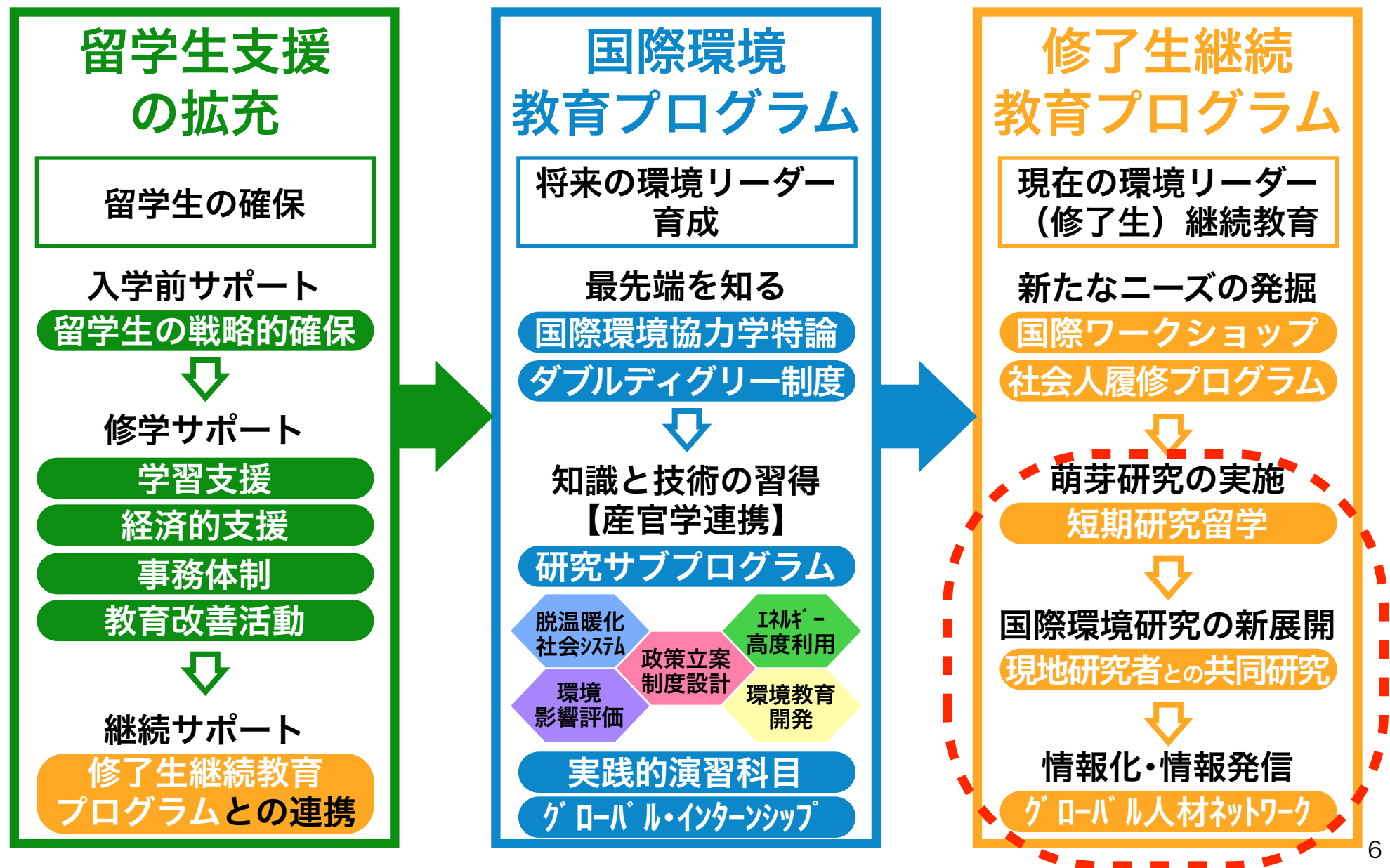
1. 発展段階の異なる国々から若手研究者を戦略的に招聘し、環境課題に対する**知見・経験やグッドプラクティスを共有する**。
2. **国際環境問題**に対応する研究・取り組みの促進
3. 現地が直面する緊急性の高い環境課題に関する**共同研究・技術開発ニーズの発掘と人材ネットワークの構築**



期待される成果

- 🌐 各国・地域の現状に即した適切な環境技術の開発と政策立案に関する共同研究の推進
- 🌐 各国・地域の潜在的ニーズの発掘と研究シーズとの効率的マッチング、異なる国の経験や技術を活用した研究の推進

広島大学の国際環境リーダー育成プログラム における若手研究者交流事業の役割



若手研究者交流事業の具体的内容

萌芽研究の実施

短期研究留学



国際環境研究の新展開

現地研究者との共同研究



情報化・情報発信

グローバル人材ネットワーク

- ✎ 外国人客員研究員として受入
- ✎ セミナーの開催
- ✎ 国際ワークショップ参加
- ✎ 共同研究プロポーザルの作成
- ✎ 修了証の授与
- ✎ 招聘事業の報告書作成
- ✎ 国際共同研究への展開
- ✎ 定期的な情報交換・研究進捗報告
- ✎ 学術的成果発表
- ✎ 現地カウンターパートの拡充

若手研究者の招聘実績

平成20年度（2008/11～2009/3）：2カ国10名

インドネシア	7名	うちIDEC修了生3名
フィリピン	3名	

平成21年度1回目（2009/4～2009/9）：4カ国11名

インドネシア	2名	
フィリピン	2名	うちIDEC修了生1名
タイ	3名	
ベトナム	4名	うちIDEC修了生1名

平成21年度2回目（2009/10～2010/9）：6カ国11名

インドネシア	3名	うちIDEC修了生2名
マレーシア	3名	うちIDEC修了生1名
インド	2名	
カンボジア	1名	
ラオス	1名	
オーストラリア	1名	

若手研究者による共同研究プロポーザル

国名	研究題目
インドネシア	Multi-Stakeholders Arrangement and Coordination in Urban Environmental Management: Learning Japan Eco Cities Experience
フィリピン	Monitoring and planning urban green spaces using ecological indicators of biodiversity toward a low carbon society: Iligan City, Philippines
タイ	Embodied energy and CO2 emission analysis and policy implications for Bangkok
ベトナム	Assessing the potential of using mobile phone as a disseminating platform in a typhoon early warning system
マレーシア	Assessing Protected Area Effectiveness on Reducing Deforestation in the State of Pahang, Peninsular Malaysia
インド	Migration, Household Energy Choice and Urban Sustainability: Evidence from Ahmedabad, India
カンボジア	Assesing Second-hand Vehicle Characteristics in the Context of Emission: A Case of Phnom Penh City, Cambodia
ラオス	An Assessment of the Potential Contribution of the Non Timber Forest Products to Food Security at Focal Site Resettlement from Nam Ngum 2 Hydropower Project

招聘した若手研究者との国際共同研究事例

研究題目	招聘した 若手研究者	研究参画者
Monitoring and planning urban green spaces using ecological indicators of biodiversity toward a low carbon society: Iligan City, Philippines	Jhonamie A. Mabhay ミンダナオ州立大学 教授 (IDEC修了生)	(代表者) 中越信和 広島大学大学院 教授 (分担者) 近藤俊明 広島大学大学院 助教

- 📍 国際環境リーダー育成プログラム内で国際共同研究を公募
- 📍 研究計画調書，経費執行計画の審査を経て，競争的に研究費助成を実施

まとめ

- 広島大学は、国際環境協力学を学術領域とする高度人材育成と課題解決志向の実践的研究を、プログラムとして展開している。
- JSPSの若手研究者交流支援事業は、広島大学が展開するプログラムの一角として活用されており、今後その一角は益々重要となる。
- その活用目的はASEAN諸国の若手研究者のフォローアップを通じた、現地が直面する喫緊の環境課題に対処するための支援と、課題解決を志向するグローバル人材ネットワークの構築である。
- これまでに9カ国から32名の若手研究者を招聘し、実践的な共同研究を重層的に展開することで、ASEAN諸国における多様な環境課題を解決する学術的推進力となることを望んでいる。